

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年11月5日 No.88

ちひろカレンダーの積極的普及を

宮崎、山梨、宮城県原水協が昨年数突破

2009年版ちひろカレンダーが好評です。佐賀、岡山に続き、宮崎、山梨、宮城県原水協が昨年数を突破しています。原水爆禁止運動にとってちひろカレンダーは、平和を愛する気運を醸成するとともに、財政面での充実を図るために欠かせないものです。今月いっぱい勝負となりますので、積極的な普及をお願いします。

宇都宮美術館ミュージアムショップが快諾 - 栃木

栃木県原水協は昨年に引き続いて民間の幼稚園・保育園に手紙を出したところ、宇都宮市のある保育園から昨年と同様の注文が来ました。福田台事務局長は「件数はまだ少ないが、これからも期待したい」と話しています。福田事務局長は、自分たちにできることはどんどん挑戦していきたいと、周囲にも声をかけています。宇都宮市でしっかりした店舗を営んでいる高校時代の友人に普及の協力を依頼したところ、見本のカレンダーをばらして幾枚かを大通りに面したガラスに貼り付けてくれました。また、宇都宮美術館のミュージアムショップにちひろカレンダーを置いてくれないか頼んでみたところ、8月に「わたしが選んだちひろ展」を開催していることもあり、快く引き受けてくれました。

佐野市の宮崎ヤエ子さんは、県原水協から初めてカレンダーを10本注文。新婦人の友人を中心に普及しています。

オンライン署名運用スタート

日本原水協のホームページ上で「核兵器のない世界を」の署名をすることができる機能がスタートしました。<http://www.antiatom.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=2010J> にアクセスするとすぐに署名フォームが出てくるので、5人までの署名とメッセージなどを書いて送ることができます。また、日本原水協のホームページの右側にある新署名ポスターをクリックすると署名用紙やモノクロの表紙(PDFファイル)をダウンロードすることができます。

ギャラリーで「被爆写真・絵画展」開催 山梨

山梨県原水協は国連軍縮週間に合わせて甲府駅前のギャラリーで「被爆写真・絵画展」を行いました。25日には日本原水協国連要請代表団に参加した平賀嘉仁さんから「署名を国連代表に手渡した。2010年にかけてNGO・市民の役割が大きい」という報告と、県の被爆者団体から「原爆症認定も前進だが政府・厚労省の対応に疑問。県内では新たに認定者が出る」と報告がありました。

ギャラリーには市内の保育園児や学生などの他、広島や神奈川など県外の人も訪れました。11月2日には、11時開館と同時に平和通りを清掃していた10代、20代のボランティア青年グループのリーダーが「みんな、ここで広島・長崎の展示をしているから見学していこう」と大きな声で約20人の集団に呼びかけました。このグループがみんなギャラリーの中に入り、熱心に見学したり、折り鶴を作製して行きました。中には被爆者の絵を見ながら「この人たちの平均年齢は74.6歳だよ。いろんなことが想像できる」と年下の仲間に説明している青年もいました。